

# 台湾の祭り

陳彦華  
何湘鈴  
劉乃璋  
胡辰君  
渡辺珠絵

# 台湾の祭り

## 要旨

當人們提到日本最先想到的便是各式各樣的祭典，然而在臺灣也有許多家喻戶曉的祭典，但人們對於祭典的起源和活動內容並不清楚，因此筆者們決定選擇台灣祭典作為本次報告的題目，挑選臺灣三個有名的宗教祭典來介紹，並與日本的祭典文化做比較。

為了讓臺日雙方都能更深入地了解臺灣的祭典，此次調查方法包括網路查詢資料、借閱圖書館相關書籍和實際採訪有參加過活動的親戚朋友。根據調查結果，不僅能讓日本人了解臺灣著名的傳統祭祀活動，也讓臺灣人更加地知曉活動的詳細內容和舉辦意義，以及日本和臺灣祭典間的共同和差異。

臺灣的各種祭典都有它各自的意義，筆者們希望人們不單單只是知道它或參加它，而是去了解祭典其中的涵義，幫助人們更深入體會每個祭典的環節。此外日本和臺灣的祭典本質上其實相差無幾，只是形式上有所不同而已，從古至今祈禱平安的心都是一樣的。

關鍵字：炸寒單、搶孤、大甲媽祖繞境進香、臺日祭典比較

# 目録

- 一. 動機
- 二. 研究方法
- 三. 三つの台湾の祭り
  1. 炸寒單
  2. 搶孤
  3. 大甲媽祖繞境進香
- 四. 親戚の体験
- 五. 日本の祭りの起源
- 六. 日台の祭り文化比較
- 七. 結論
- 八. 参考資料

## 一、動機

本レポートのテーマは「台湾の祭り」である。日本と言えば、いろいろな祭りがある。台湾にもさまざまな祭りはあるが、具体的な過程と由来を多くの人知らない。今回のレポートを通じ、台湾の祭りを紹介し、日本の祭りと比べ、両者をより深く理解したいと思った。これがこのテーマを選んだ理由である。

## 二、研究方法

調査方法は1. インターネットで資料を探す、2. 図書館で本を借りる、3. 祭りの参加者に体験談を聞くの3つである。これら方法で集めた情報を分析する。

## 三、3つの台湾の祭り

このテーマを決めた後、メンバー全員が各自で台湾で有名な祭りを挙げた。最も私達の関心を引いた祭りは「炸寒單」と「搶孤」と「媽祖繞境」だった。また、メンバーの彦華の叔父はこの3つの祭り全ての参加経験があり、現場の状況など生の声を聞けると考えた。そのためこれら3つの祭りを選ぶことにした。

### 1. 炸寒單

- 由来：伝説によると、寒單爺は商王朝の武将「趙公明」であり、死後、天国の財務省長になった。寒單爺は寒さを恐れていると言われてるので、彼が巡行をしているとき、人々は彼の寒気を取り除くために爆竹を投げる。そして、人は「爆竹が爆破されれば（爆竹は多ければ多いほどいい）、今年の富は豊かになる」と信じている。



図1：炸寒單は台東に最も代表的なイベント。

(出典：<https://ameblo.jp/ryunohane/entry-11164762597.html>)

- 開催時期：1951年から毎年の小正月（旧暦の15日と16日）
- 開催場所：台東縣台東市玄武殿から出発、海濱公園を通り、最後に玄武殿へ戻る。

- 寒単爺の選出方法

寒単爺に扮する人は神の加護を得ることができると言われていて、彼らはすべてボランティアである。彼らは「擲菱」という方式で神の同意を得る必要がある。毎年寒単爺に扮する人の人数は固定されず、状況によって調整される（寒単爺がひどい怪我をして、痛みを我慢できない場合は他の人に変わってもらう）。

- 「擲菱」の方法と意味

図2にあるようなポエを2個両手で眉間の前に持つ。そして頭の中で自分の名前、生年月日、住所を唱えた後に、神様に尋ねたい事柄を質問をする。そして、2個のポエを地面に投げる。ポエの一個が凸面、もう一個は平面ができれば「聖筊」で「OK・よい」という意味になる。ポエが2個とも凸面の場合は「陰筊」で「ダメ・違う」という意味になる。ポエが2個とも平面の場合には「笑筊」、質問の仕方を変えて、もう一度投げる必要がある。

（引用：<https://ameblo.jp/ryunohane/entry-11164762597.html>）



図2.：擲菱の結果（出典：<https://www.ht.org.tw/religion207.htm>）

- 寒単爺の装い

頭には、「寒単爺」という字が書かれた赤いスカーフを被って、爆竹の火傷を防ぐために髪を覆う。顔は煙が気道を傷つけないために鼻と口を濡れたタオルで覆う。両耳には爆竹音による鼓膜の損傷を防ぐため、耳栓や綿などを着用している。そして、体の保護ツールとしてガジュマルの枝を持っている。



図 3：ガジュマルの枝のみで体を保護

(出典：<https://www.102like.com/p15659.asp>)

- 活動：寒单爺はお神輿の上に立ち、4人でお神輿を運ぶ。玄武殿から出発する。海濱公園に到着すると、砲手は爆竹を寒单爺に投げる。安全を考慮し、砲手は玄武殿の職員によって担当されている。



図 4.：スタッフは全部玄武殿の職員

(出典：<https://www.ettoday.net/news/20180302/1122311.htm>)

## 2. 搶孤

- 由来：清朝時代から数百年に渡って続く長い歴史があり、その本質には無縁仏の供養や先祖の追悼といった宗教的意味のほか、貧しい

人に食べ物を分け与えるという先人の人道的精神が込められている。当初搶孤では荒々しく無秩序にお供え物を分け合っていたが、後に公平な競技ルールの下での「豎孤棚」行事へと変化を遂げ、さらに現在のようにスポーツ競技としてのルールを具えた民俗スポーツ行事へと発展を遂げた。



図 5：開催された搶孤、花火が打ち上げている

(出典：<https://www.taiwan.net.tw/ml.aspx?sNo=0001019&lid=080112>)

- 開催時期：旧暦 7 月 15 日の中元節に行われる供養の儀式の後、三つの行程で開催される。
- 開催場所：宜蘭、頭城、恆春
- 活動：
  - ① 供養の儀式：死者の魂を供養するための法会を開催日の午後 4 時に開く。道士が搶孤と爬孤棚の時間について死者の神様に指示を聞いて決定する。
  - ② 搶孤：搶孤はこの活動を参加しているの人に品物をあげることで、夜 8 時に開始される。会場には大勢の人が集まり、食物（鶏肉、豚肉、粽、海鮮…など）がばら撒かれると、全員が一斉に押し寄せて奪い合い、大変な盛り上がりを見せる。
  - ③ 爬孤棚（豎孤棚）：爬孤棚はスポーツ競技のようなもので、参加チームは柱を登る。開催日の夜 10 時に実施されている。銅鑼や太鼓が鳴り始めると、参加チームは各自力を尽くし、順風旗を手にして勝利を勝ち取るため、23 メートルの木の柱 36 本で造られた孤棚を登る。
- 爬孤棚の競技方法  
恆春の爬孤棚では、36 本の原木のうち東西南北の 4 本は「好兄弟」（無縁仏）が登るものとされ、競技には残りの 32 本の原木が使用される

したがって、参加チーム数は 32 組となっている。参加者は満 18 歳以上の男性のみで、各チーム 12 人前後で構成され、人間ピラミッドを作って協力し合い、一步一步ゆっくりと登り、ロープを使って柱に塗られた牛の脂を取り除いてから、最上部に向かって登って行く。頂上に到着した後は城壁を登り、最初に順風旗を手にしたチームの勝利となります。競技の過程は非常に刺激的で、その様子に多くの人が惹きつけられている。



図 6：爬孤棚をしている人たち

(出典：<https://tw.news.yahoo.com/%E6%95%A3%E7%AD%96%E9%A0%AD%E5%9F%8E-%E9%AB%94%E9%A9%97%E6%90%B6%E5%AD%A4%E6%96%87%E5%8C%96%E5%8B%95%E4%BA%BA%E6%89%80%E5%9C%A8064545037.html>)

### 3. 大甲媽祖繞境進香

- 由来：1730 年鎮瀾宮という廟ができた。その時から、大甲の住民は 12 年間に 1 回、中国の湄洲へ「進香」することにしていた。「進香」とは信者が崇拝する神様を他の廟に連れていくということである。目的は神様と神様、人間と人間を交流させて、両方の仲を維持する。しかし、日本植民地化時代、中国への渡航が禁止された。そのため、鎮瀾宮の信者は媽祖を台湾の他の廟へ「進香」した。時を経て、訪れる廟が増え参加者も年々増えている。2011 年、大甲媽祖繞境進香は台湾の行政院により「國の重要な民俗活動」の一つに登録された。



図7：歴史が古い大甲鎮瀾宮という廟

(出典：<https://www.boncity.com/Topic/40779-Taichung-Dajia-Mazu-Temple.html>)

- 開催時期：8 泊 9 日，開催日時は媽祖の誕生日とされる旧暦 3 月 23 日辺りに行われる。確実な日程は、毎年旧暦 1 月 15 日（元宵節）のとき、「擲茭」で、媽祖に聞いて決定する。
- 開催場所：台中大甲からはじまり、彰化、雲林、嘉義を渡る。最後に再び台中大甲へ戻ってくる。
- 活動：媽祖という神様と一緒に進香に行く。歩きながら太鼓や鑼やラッパなどの音が鳴り続けるため、とてもにぎやかである。時折、伝統的な演技をする。途中で地元住民や信者などが進香の人に食べ物を準備しておく。粽や果物など、様々な食べ物がある。全て無料で、食べられる分だけ取る。8 泊 9 日のイベントだが、その間の生活は少し大変で巡礼の参加者は簡易的に道の側や廟の中で寝る。往復、約 340 キロメートルの道のりを最初から最後まで歩く。それが無理なら、自転車やバイクなどに乗って行ってもいいということになっている。嘉義奉天宮に到着すると、媽祖の誕生日を祝うため、多くの人が嘉義奉天宮に集まっている。注意することは媽祖の誕生日を祝う時、一着新しい服を着ることである。出発する前に準備しておいた方がいい。



図8：たくさん人が媽祖繞境に参加する

(出典：<http://mypaper.pchome.com.tw/ivy1a9/post/1324244320>)

## 四、親戚の体験

レポートグループのメンバー彦華の叔父は祭りが好きで、時間があつたら、祭りに参加している。そのため、私たちは叔父に現場の状況と感想を聞くことにした。

まず、搶孤と炸寒單という祭りは、叔父は観客として参加したため、この二つの祭りは観客の目線から説明する。

	搶孤	炸寒單
祭りは危険そうですが、怪我などありましたか	病院に行くほどの怪我ではない	寒單爺になった人は怪我はあるが酷くない
現場の状況	参加する人が多い 観客も多い	観客が多い
感想	1. 媽祖繞境より、祭りのような雰囲気は少なく宗教の活動と言うより、地元の若者を試練させると言ったほうがいい。 2. ショーみたいな感じ。	

次は、大甲媽祖繞境進香。叔父は今年のこの祭りで、お神輿を担ぐ人になった。参加者の目線から説明する前に、「お神輿を担ぐ人あるある」を話してもらった。

お神輿を担ぐ人あるある：

1. お神輿はとても重いので、一回十六人で担ぐ。
2. 担いでいる時、すごく疲れる、喉が渴いている。
3. 多くの信者はお神輿を触りたいから、場は少し混んでいる。
4. お神輿を担ぐ時、方向をお神輿が導いているように感じているということだが、実は、何も感じていない。でも、白沙屯媽祖遶境なら、確かにある力が方向を導いているらしい。

次に、叔父に三つの質問を聞いた。

1. 護衛になれたのはなぜですか？  
知り合いがいるから、その人の紹介で今回護衛になることができた。
2. 特別なことがありますか？  
お神輿を置く前に、地面に打ち紙を置いておく。  
その打ち紙は壓轎金と言われる。壓轎金はお神輿を止めておくときに神様に尊敬の気持ちを表すために椅子の上においておく黄色い紙のことである。普通の信者は取ることができないが、護衛はそれを取ることができる。



図 9：椅子の上のものが壓轎金（出典：<https://fun01.me/post/375916/>）

### 3. 感想

一日参加して、お年寄りとお若者の信者がみんな一緒にお神輿のそばを歩くことを、とても誇りに思った。そして、現場にはとても多くの人が出て、決まりを守っている。参加後は疲れるが、神様に奉仕するから、終わった後気持ちがいい。来年機会があったら、ぜひもう一度参加したい。

## 五、日本の祭りの起源

日本の祭りの起源は神様です。『まつり』の語源である動詞の『まつる』は、神様に供物を祀るなどの意味があるため、日本の祭の起源は神様が関わっていた可能性が高い。

古代においては神様に対して、五穀豊穰や平和を願い、厄災が訪れた際にはその退散を願い、うれしいことがあればそれを感謝する、そういった信仰を表す儀式の形態のひとつが祭りであった。

江戸時代、明治時代を通して宗教的な意味合いは薄くなり今の祭りの形が残ったと言われている。(引用：<https://www.nihongo-biyori.com/culture/902/>  
[https://www.homemate-research-festival.com/useful/12698\\_tour\\_001/](https://www.homemate-research-festival.com/useful/12698_tour_001/))

## 六、日台の祭り文化比較

この部分は、日本の祭り文化と台湾の祭り文化を比較する。メンバーの渡辺さんに日本の祭り文化についてを聞き、台湾と一体どこが違うかを比べる。比較する内容は、例えば：祭りをを行う時間とか、祭りに参加する時何を着るなど自分たちが興味のあることを聞いてみた。

	台湾	日本
祭りをを行う時間	祭りによって違う	夏に行われることが多い
着るもの	観客は限らない 廟の職員は上演の服を着る	お客は浴衣を着る 祭りの人員は上演の服を着る
祭りを始める時間	朝から始めることもあるし、午後と夜から始める場合もあり様々	夕方から夜にかけて行われる
参加する人	お年寄りとは若者は半分	二十代は恋人同士が多い
現場の状況	人が多い 事故に繋がること少しある	人が多い 事故に繋がることある
他の特色	屋台がある	屋台と花火がある

## 七、結論

炸寒單は精神と勇気の象徴である。そして、生命力溢れるイベントである。台東が一番賑やかになるといってもよい炸寒單は、台東の最も大切なイベントというだけでなく、台東人の共通の記憶(文化)だ。台東縣政府により押し広められ規模を広げ、2007年には文化局によって「地方の重要文化遺産」に登録されている。

搶孤は清朝時代から長い歴史があり、無縁仏の供養や先祖の追悼といった宗教的意味のほか、貧しい人に食べ物を分け与えるという先人の人道的精神が込められている。現在はスポーツ競技としてのルールを具えた民俗スポーツ行事へと発展を遂げた。

大甲媽祖繞境進香は8泊9日に渡るお祭りで、音楽と伝統的な演技を伴い、約340キロメートルの路程を完走する。この祭りの目的は神を崇拝することだけではなく、神様と神様、人間と人間を交流させて、両方の仲を維持することでもある。年齢・性別を問わず誰でも参加できる。参加者も年々増え、台湾の行政院に「國の重要な民俗活動」の一つに登録された。

三つのお祭りに実際に参加したことのある人の話を聞いて、搶孤と炸寒單の現場はとても賑やかだが、祭りのような雰囲気が少ないし、ショーを見ているような雰囲気を感じたと言っていたのが印象に残った。また、大甲媽祖巡礼は疲れるが、特別な意義があり、参加後大きな達成感を得られるというのがとても面白いと思った。

私たちは台湾の祭りの開催時期を普段からあまり意識していない。そのためまだこれらの祭りに参加したことがない。しかし、今回叔父の話から、炸寒單と搶孤は現場は民衆側の視点だが、とても賑やかで面白そうである。媽祖繞境には知り合いがいないためお神輿を担ぐチャンスを得ることは難しいだろうが、もしそれが可能ならとても大変な経験になると思う。時間があったら、8泊9日の媽祖繞境に最初から最後までみんなと一緒に歩いて参加してみたい気持ちになった。

調査結果により、日本人だけでなく、台湾人も地元の祭りの内容とその中の意義を深く理解することができた。祭りの意味を理解するとより一層祭りを楽しめるのではないかと思った。

台湾と日本の祭りの本質は似ている。形式は違うが、人々は平和な生活を求めている点は昔も今も変わらない。

## 八、參考資料

- 台東製造 ZZTaitung，2016，〈世界級元宵民俗活動 台東炸寒單 Taitung's Lord Handan Festival〉  
<https://www.youtube.com/watch?v=PPPq3xjx0Ak&feature=youtu.be>
- 臺灣宗教百景，〈臺東炮炸寒單爺〉  
[https://www.taiwangods.com/html/landscape/1\\_0011.aspx?i=92](https://www.taiwangods.com/html/landscape/1_0011.aspx?i=92)
- 臺灣宗教文化資產，〈炮炸肉身寒單爺〉  
[https://www.taiwangods.com/html/cultural/3\\_0011.aspx?i=83](https://www.taiwangods.com/html/cultural/3_0011.aspx?i=83)
- 台東製造，〈【台東旅遊】2019 台東元宵節：炮炸寒單震撼秀！世界級的民俗驕傲。〉  
<http://www.zztaitung.com/2923/taitung-bombhandan>
- 台灣式「神様への質問の仕方」  
<https://ameblo.jp/ryunohane/entry-11164762597.html>
- 臺灣宗教百景，〈頭城搶孤〉  
[https://www.taiwangods.com/html/landscape/1\\_0011.aspx?i=21](https://www.taiwangods.com/html/landscape/1_0011.aspx?i=21)
- 臺灣宗教百景，〈恆春搶孤・爬孤棚(行事・信仰)〉  
[https://www.taiwangods.com/html/landscape\\_jp/1\\_0011.aspx?i=91](https://www.taiwangods.com/html/landscape_jp/1_0011.aspx?i=91)
- The Smarter Way，2019，〈全台最大中元祭典！2019 頭城搶孤活動：由來、時間、地點、周邊美食〉  
<https://www.shopback.com.tw/blog/guide-to-toucheng-chungyuan-festival>
- 臺灣交通部觀光局，〈2019 頭城搶孤民俗文化活動〉  
<https://www.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0001019&lid=080112>
- 自由時報，2019，〈恆春豎孤棚另類對戰 2 立委參選人提早捉對廝殺〉  
<https://news.ltn.com.tw/news/politics/breakingnews/2882673>
- Yahoo!新聞，2013，〈散策頭城 體驗搶孤文化動人所在〉  
<https://tw.news.yahoo.com/%E6%95%A3%E7%AD%96%E9%A0%AD%E5%9F%8E-%E9%AB%94%E9%A9%97%E6%90%B6%E5%AD%A4%E6%96%87%E5%8C%96%E5%8B%95%E4%BA%BA%E6%89%80%E5%9C%A8-064545037.html>
- 悠遊墾丁，2015，〈2015 恆春搶孤〉  
<https://www.youtube.com/watch?v=TMJI9WO66XY&t=52s>
- 游淑珺，2014，〈大甲媽祖繞境進香〉，臺中市，文化部文化資產局 (P20-37.64-65.78-81.89-94)
- 黃敦厚、洪瑩發，2008，〈臺灣瘋媽祖—大甲媽祖繞境進香〉，臺北縣，博揚文化(P8-11.40-73.98-104)
- 欣傳媒，2016，〈身為台灣囡仔，你為什麼要去「大甲媽祖遶境」？〉  
<https://solomo.xinmedia.com/taiwan/64044-dajiamazu2016>

- PChome 個人新聞台，2013，〈2013 大甲媽祖遶境 新港大鞭炮恭迎〉  
<http://mypaper.pchome.com.tw/ivy1a9/post/1324244320>
- 微笑台灣，2019，〈2019 大甲媽祖遶境、白沙屯媽祖進香：時程路線總整理〉  
<https://smiletaiwan.cw.com.tw/article/1666>
- 棒！城市 Bon city，〈台中大甲鎮瀾宮-大甲媽祖廟〉，  
<https://www.boncity.com/Topic/40779-Taichung-Dajia-Mazu-Temple.html>
- 健太跟高志 TV ~kentakashi TV~，2019，〈日本人參加 9 日 8 夜媽祖遶境，7 分鐘帶你看完全程～看到最美台灣人的心！！！（2019 大甲媽祖遶境）〉  
<https://www.youtube.com/watch?v=4AYJOpYmz0A>
- 觀光・レジャー施設旅探，〈日本の祭りとは〉  
[https://www.homemate-research-festival.com/useful/12698\\_tour\\_001/](https://www.homemate-research-festival.com/useful/12698_tour_001/)
- にほんご日和，2019，日本の祭りとは？ 伝統文化から三大祭りまで解説！  
<https://www.nihongo-biyori.com/culture/902/>